

明和メディカルセンタービル竣工式

10月23日（土）、明和メディカルセンタービル竣工式が、群馬県知事、群馬県関係機関、近隣市町首長、工事関係者、町議会議員、各区長、進出される医療機関等をお招きして盛大に開催されました。



【テープカットの様子 (私の隣は笹川夫人です)】

【総工費は？町の財政は？】

明和メディカルセンタービルは予定総工費34億円ですが、医療病院部分の20億円は、(株)邑楽館林まちづくりの筆頭株主である河本工業(株)様に出資していただきました。河本工業(株)様が賃貸物件として建てて貸出をす

るわけです。西側(A館)3階部分は土地開発公社の自己資金6億円をあて事務所及び会議室とし、会議室は災害時の避難場所として利用できるようにしました。また、保健センターとペDESTリアンデッキは8億円で町の負担分でございます。保健センターは、通常の建替に補助金は付きませんが、今回は立地適正化(コンパクトシティー構想)補助金が半分付けられ、また残り半分は、基準財政需要額に算入されることで、地方交付税として戻ってくる公共事業等債を使います。そして、民間部分には固定資産税も発生するため、ほとんど町の負担金額なしでメディカルセンタービルを建てる事が出来ました。



【川俣駅から繋がるペDESTリアンデッキ】

【入居する施設は？】

明和メディカルセンタービルには、館林市の海宝病院が「明和セントラル病院」と改名して開業します。また、太田市から小児科専門医が

「明和赤ちゃんこどもクリニック」として、調剤薬局は「だいいち薬局」として開業いたします。また、軽食が食べられる店「ラフ (Rough)」が入ります。その医療ビル部分を、河本工業株様の資金で建てていただき、ここに明和町初の民間資金活用事業・PFI 事業として立ち上げる事が出来ました。



【旧保健センターと比べて！】

さて、昭和59年3月に竣工いたしました旧保健センターは当時、町民の健康づくりを推進するため工事費7500万円を投じて、現在の老人福祉センター西側に432㎡で建設されました。その後、平成24年から社会福祉会館として利用されておりますが、交換した旧社会福祉会館である

明和町中央幼稚園の建物（昭和56年2月竣工453㎡ 工事費5780万円）が保健センターとなりました。そしてこの度、国のコンパクトシティ構想の社会資本整備事業補助金を受け、川俣駅東口に移転、新築されました。これにつきましては笹川代議士に大変ご尽力をいただきました事、厚く御礼を申し上げます。



【保健センター受付】

【最新の運営方法・人間ドックも割安に！】

この度の竣工に際し、改善された運営方法を導入します。医療機関との連携を強化し、今まで財団から健診バスを派遣いただいていた費用を、すべて町民の皆様の健診受診費用に充てられ、保健指導を組み合わせることにより、人間ドックも自己負担1万円での提供が可能になります。また、

保健センターは健診事業の他に調理室も備えており、食生活指導や子どもの食育指導、男性向けの食生活講座、骨粗しょうしょう予防講座等もプログラム化して行えるようになり、保健師と管理栄養士が配属されてパッケージで保健指導が行える拠点として使用されます。



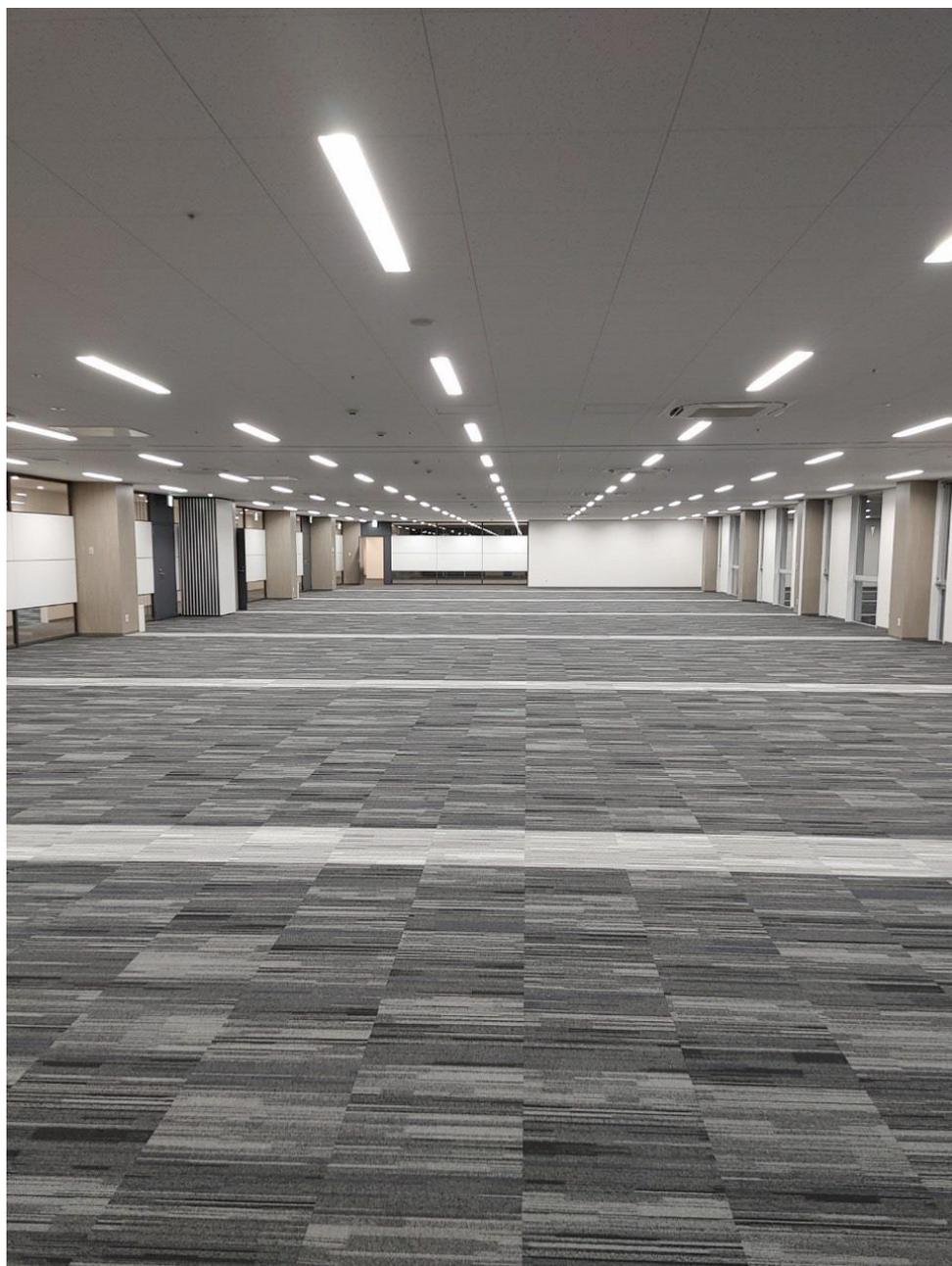
【保健センタースタッフ】

初の保健センター建設から37年後に、このように明和町メディカルセンタービルとして、お医者様の常駐する病院として竣工できましたことは、私どもといたしましても、大変喜ばしい限りでございます。

新しい保健センターは、1050㎡で当初の2倍以上の広さになり、関係医療機関と連携して効率的に的確に健診業務を進められるように、スタ

スタッフ一同のアイデアを随所に盛り込ませていただきました。これまでは役場庁舎で健診等が行われ、垂直移動等が頻繁で、皆様に大変なご不便をおかけしてまいりましたが、これからは快適な空間の中で健康管理を進められる様になっております。

これからも、住民の皆様のご要望にお応えしながら、より質の高い健康管理が提供できるものと思っておりますので、大いにご期待をいただきたいと思えます。



【広い土地開発公社会議室 (避難施設)】

令和3年11月2日

明和町長 富塚もとすけ